

第17回

宇陀市子ども子育て会議資料

1. 教育・保育提供体制の見込に対する実績及び状況について
2. 子育て支援13事業の利用実績等状況について
3. 菟田野こども園建設事業について
4. 新型コロナウイルス対策事業について
5. フリーディスカッション

宇陀市

1. 教育・保育提供体制の見込に対する実績及び状況について

(1) 保育所(園)・幼稚園・認定こども園の状況

平成31年度の市内こども園(保育認定)・保育所は、5か所、定員数は465人で、入所者数は、定員を81人下回りました。こども園(教育認定)・幼稚園については、幼稚園3か所、認定こども園2か所、幼稚園の定員190人に対し園児数は139人、認定こども園は定員数100人に対し園児数は79人です。また、平成31年度時点、菟田野区域は幼稚園がなく、大宇陀こども園(教育認定)にて対応しています。(内訳：菟田野区域児童22人/65人、33.8%)令和2年度から、菟田野保育所がこども園に移行しました。

◆保育所(園)、幼稚園、認定こども園の定員及び入所者数

【単位：人】

				H27	H28	H29	H30	H31
こども園 (保育認定)	公立	大宇陀こども園	定員数	120	120	120	90	90
			入所者数	88	92	84	72	79
		室生こども園	定員数	75	75	75	60	60
			入所者数	31	26	31	29	40
保育所	公立	菟田野保育所	定員数	130	130	130	65	65
			入所者数	36	30	31	39	33
		榛原北保育園	定員数	100	100	100	100	100
			入所者数	62	78	79	87	92
	私立	しらゆり保育園	定員数	150	150	150	150	150
			入所者数	123	125	134	139	140
こども園 (教育認定) 幼稚園	公立	大宇陀こども園	定員数	150	150	150	70	70
			入所者数	73	66	74	74	65
		室生こども園	定員数	60	60	60	30	30
			入所者数	28	23	18	21	14
		榛原幼稚園	定員数	210	210	210	70	70
			入所者数	78	73	58	62	64
		榛原東幼稚園	定員数	280	280	280	85	85
			入所者数	86	81	73	58	53
		榛原西幼稚園	定員数	140	140	140	35	35
			入所者数	21	18	23	27	22

資料：こども園は教育認定と保育認定で別々に計上(各年4月1日)

幼稚園は学校基本調査(各年5月1日)

2. 子育て支援13事業の利用実績等状況について

(1) 利用者支援事業

子ども及びその保護者が、情報提供・相談支援等に加えて、予防的な効果も期待されることから、各地域に1か所相談窓口を設置します。

【単位：箇所数】

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
量の見込み	箇所数	4	4	4	4	4
確保方策	箇所数	3	3	3	3	3
実績	箇所数	3	3	3	3	3

本市では、平成27年4月から、子育て支援センターすくすく（菟田野）、認定こども園2園（大宇陀・室生）の3か所で実施しています。榛原地域における就学前施設の整備については現在検討段階であるため3か所となります。

(2) 延長保育事業

保護者の勤務時間や通勤時間の都合で、保育標準時間を超えて継続的に保育が必要な場合や、急な残業等で一時的に保育時間の延長が必要な場合に利用するものです。

【単位：人】

提供区域		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
大宇陀地域	見込み	26	25	25	24	22
	実績	4	7	7	5	7
菟田野地域	見込み	17	16	16	15	14
	実績	0	0	0	1	2
榛原地域	見込み	67	65	62	60	58
	実績	37	35	46	56	33
室生地域	見込み	13	12	12	11	11
	実績	0	0	0	1	0
合計	見込み	123	118	115	110	105
	実績	41	42	53	63	42

私立しらゆり保育園のみ実施しています。平成30年度までは増加傾向にありましたが、平成31年度の利用実績は減少しています。

※延長保育とは、保育標準時間（7:30～18:30）を超える、7:00～7:30と18:30～19:30の保育をいいます。

(3) 放課後児童健全育成事業

保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校1年生から6年生までの児童が、学童保育室を利用するものです。

【単位：人】

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
低学年	見込み	173	170	154	143	140
	実績	163	166	160	171	164
高学年	見込み	77	69	70	69	68
	実績	33	36	39	35	46
箇所数	見込み	7	7	7	7	7
	実績	6	7	7	7	7

平成27年度に、室生小学校に設置したことにより、各地域に提供体制が整備できました。低学年は、ほぼ見込みどおりで、160人前後で推移しています。高学年は、見込みを下回っていますが、平成31年度は前年度より少し増加しています。

(4) 子育て短期支援事業（ショートステイ）

保護者が疾病等で児童の養育が一時的に困難となった場合に、施設で児童を保護・養育するものです。

【単位：件】

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
量の見込み	利用人数	0	0	0	0	0
実績	利用人数	0	0	0	2	0

県内児童福祉施設と委託契約により、受け入れ体制を整備しています。契約施設も年々増加しているので、養育が一時的に困難となった場合のニーズにも対応可能となっています。平成30年度に2件の利用がありました。

(5) 地域子育て支援拠点事業

子育ての不安感、負担感を軽減するため、乳幼児とその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業です

【単位：人、か所】

		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
利用人数	見込み	936	890	854	1,840	1,783
	実績	1,100	2,007	2,598	2,346	2,235
設置箇所	見込み	3	3	3	3	3
	実績	3	3	3	3	3

子育て支援センターすくすく（菟田野）、認定こども園2園（大宇陀・室生）の3か所で実施しており、榛原地域における就学前施設の整備については現在検討段階です。利用状況は、平成29年から減少はしていますが、利用人数見込みを上回っています。

（6）一時預かり事業（1号認定対象）

通常の幼稚園教育時間の開始前や終了後、夏休みなどの幼稚園休業日に園児を預かる事業です。

【単位：人】

		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
利用人数	見込み	5,656	5,470	5,426	4,410	4,229
	実績	5,384	4,869	5,063	4,790	4,137

大宇陀・室生こども園、榛原・榛原東・榛原西幼稚園、の5園で幼児教育在園児を対象とした一時預かりとなります。利用状況を見ると、延べ利用者数は5,000人前後で推移していましたが、平成31年度は約4,100人でした。幼稚園等休業日のファミリー・サポート・センターの実績はありません。

（7）一時預かり事業（未就園児等）、短期支援事業（トワイライトステイ）等

保護者が冠婚葬祭や育児疲れなどの理由により、家庭での保育が一時的に困難となった子どもについて、主として昼間、こども園等で一時的に預かる事業を一時預かり事業といいます。

また、その他にファミリー・サポート・センター事業（未就学児実績）、夜間のみ預かるトワイライトステイがあります。

【単位：人】

		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
利用人数	見込み	8,425	8,038	7,836	1,696	1,681
	実績	2,137	2,078	1,656	1,633	1,109
（内訳）一時預かり		1,663	1,743	1,357	1,372	833
（内訳）ファミサポ		474	335	299	260	276
（内訳）トワイライトステイ		0	0	0	1	0

大宇陀・室生こども園、菟田野保育所、榛原北保育園で未就園児及び幼児教育の園児を対象とした一時預かりとなります。利用状況を見ると、平成28年度からのやや減少傾向にあり、平成31年度には利用人数の見込みを下回っています。内訳で見ると、特に一時預かりの利用人数が大きく減少しています。これは幼稚園からこども園への移行や、働き方改革による就園児が増加したことが理由と考えられます。

(8) 病児・病後児保育事業、子育て援助活動支援事業（病児・緊急対応強化事業）

子どもが病気又は病気の回復期にあり、保育所等が利用できず、保護者も就労等で保育できない場合に利用するものです。

【単位：人】

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
利用人数	見込み	613	588	574	20	20
	実績	23	3	10	3	3
箇所数		1	1	1	1	1

平成27年4月より病後児保育室「りすぐみ」（大宇陀こども園）を開設しています。平成31年度の利用人数は3人でした。病後児という制約もあり、毎年度年間利用者数は見込みを下回っています。なお、病児・緊急対応のファミリー・サポート・センターでの実績はありません。

(9) 妊婦に対する健康診査

母子保健法第13条に基づき、妊婦及び胎児に影響を与える疾病の早期発見や生活習慣の見直しや改善により、疾病予防と健康増進を図ることを目的として健康診査の費用の一部を助成する事業です。

【単位：人】

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
利用人数	見込み	144	139	135	137	129
	実績	160	160	115	178	175

本市では、上限を95,000円として、妊娠中に受診する14回の妊婦健康診査受診料を補助します。平成29年度一時的に減少していますが、平成30・31年度は170人前後で推移しています。

(10) 乳児家庭全戸訪問事業、養育支援訪問事業等

生後4か月までの乳児がいるすべての家庭を訪問し、乳児及びその保護者の心身の状況ならびに養育環境の把握を行い、子育てに関する情報提供を行うとともに、支援が必要な家庭に対して適切なサービスの提供に結びつける事業です。本市では、「こんにちは赤ちゃん訪問事業」という名称で実施しています。

【単位：人】

		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
利用人数	見込み	144	139	135	137	129
	実績	115	148	122	109	106

対象児童数の減少に伴い訪問件数の実績は減少していますが、平成31年度の訪問率は98.1%となっています。

(11) 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）

育児の援助を依頼したい人と協力したい人が会員となって一時的、臨時的に有償で子どもを自宅で預かる相互援助活動です。（就学児実績）

【単位：人】

		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
利用人数	見込み	0	0	0	17	17
	実績	29	19	10	27	24

事業の利用状況をみると、参観日や公的事業の援助が多く、個人の援助によるものについては、少数となっています。また利用人数は20人前後で推移しています。

(12) 実費徴収に係る補足給付を行う事業

教材費や行事参加費など、教育・保育施設が保育料に上乗せ徴収を行う際に、実費負担の部分について低所得者の負担軽減を図るため、公費による補助を行うものです。令和元年10月より開始した「幼児教育保育の無償化」に伴い実施しており、平成31年度の実績人数は1名でした。

(13) 多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業

多様な主体による特定教育・保育施設等の設置・運営を促進し、新規施設事業者が円滑に事業を実施できるよう、新規施設等に対する支援、相談・助言、連携施設のあっせん等を実施するものです。

新規事業者への情報提供や認可化に向けた支援を行います。

3. 菟田野こども園建設事業について

(1) 建設概要

菟田野こども園は、菟田野地域の就学前児童の新しい教育・保育の拠点施設として、整備を行いました。こども園に通う子どもたちにとって、友達や地域の人との関わり、自然を感じながら、遊びと生活を通して様々な力を身につけて育っていく場所です。さらに、未就園のお子さんのいる保護者にとっても、相談や交流などの子育て支援の場所でもあります。地域の子育て家庭が安心して子育てできるようサービスの提供に取り組みます。又、菟田野保育所における保育サービスや保育目標を継承しつつ、こども園と小学校との、幼児期の教育と小学校教育との連携園として新しい取組を行います。

(2) 工事概要

- ・ 工事名 (仮称) 菟田野こども園新築工事
- ・ 工事場所 宇陀市菟田野古市場地内【菟田野小学校敷地内】
- ・ 工事内容 園舎建築、屋外整備
- ・ 工期 令和元年5月13日から令和2年7月30日まで
- ・ 契約金額 537,453,400円
- ・ 工事請負業者 松塚・ハクリュウ・中作特定建設工事共同企業体
- ・ 設計監理業者 株式会社福本設計

(3) 施設概要

- | | | | |
|---------|------------------------|--------|-----------------------|
| ・ 施設名称 | 宇陀市立菟田野こども園 | ・ 構造 | 鉄骨一部2階建 |
| ・ 敷地面積 | 2798.72 m ² | ・ 建築面積 | 637.38 m ² |
| ・ のべ床面積 | 997.50 m ² | ・ 主要用途 | 幼保連携型認定こども園 |
| ・ 定員 | 70名 | | |

(4) こども園の概要

- | | | | |
|-------|------------------|---------------------------|-------------------|
| ・ 所在地 | 宇陀市菟田野古市場 672 番地 | | |
| ・ 沿革 | 昭和48年11月 | 菟田野町立菟田野保育所開所 | 菟田野古市場 1263 番地 |
| | 平成17年4月 | 4保育所統合 | |
| | | 菟田野保育所、宇太保育所、宇賀志保育所、芳野保育所 | |
| | 平成18年 | 町村合併に伴い宇陀市立菟田野保育所に改名 | |
| | 令和2年4月 | 宇陀市立菟田野こども園開園 | 宇陀市菟田野古市場 1263 番地 |
| | 令和2年9月 | 宇陀市立菟田野こども園移転 | 宇陀市菟田野古市場 672 番地 |

4. 新型コロナウイルス感染症緊急経済対策事業

(1) 子育て世帯への臨時特別給付金給付事業（国事業） 30,170 千円

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯を支援する観点から、児童手当を受給する世帯に対し特別給付金(1万円)を支給する。

(2) 保育環境改善等事業 2,278 千円

保育所、幼保連携型認定こども園において、新型コロナウイルスの感染拡大を防止する観点から、子ども用マスク、消毒液等を購入、助成し感染拡大防止を図る。

(3) ひとり親世帯への臨時特別給付金給付事業（国事業） 27,489 千円

新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てと仕事を一人で担う低所得のひとり親世帯において、特に大きな困難が心身に生じていることを踏まえ、これら世帯の子育て負担の増加や収入の減少に対する支援を行うために臨時特別給付金を支給する。

【給付額】

・基本給付 1世帯5万円、第2子以降1人につき3万円 ・追加給付 1世帯5万円

(4) チルドレンケアカウンセラー派遣事業 247 千円

児童福祉施設等における要支援児童等の保護者やその対応にあたる保育士等に心理的側面からのケア等に対する助言等を行う。

(5) 子育て世帯への特別給付金給付事業（市独自） 30,387 千円

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯を支援する観点から、児童手当を受給する世帯に対し特別給付金(1万円)を支給する。

(6) ひとり親世帯への特別給付金給付事業（市独自） 1,862 千円

新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てと仕事を一人で担う低所得のひとり親世帯において、特に大きな困難が心身に生じていることを踏まえ、これら世帯の子育て負担の増加や収入の減少に対する支援を行うために臨時特別給付金を支給する。

【給付額】

・基本給付 1世帯5万円、第2子以降1人につき3万円

(7)こども園等児童福祉施設安全・安心確保事業（市独自分） 5,000 千円

新型コロナウイルス感染症への対応として緊急に必要となる感染拡大防止用品の購入を支援する。

(8)児童福祉施設安全・安心確保事業（放課後児童健全育成事業） 550 千円

学童保育室の窓に網戸を設置することにより、保育室の換気を行い児童福祉施設等における継続的な事業実施に向けた環境整備を図る。

(9)教育支援体制整備事業(幼稚園) 2,000 千円

幼稚園における感染拡大を防止する観点から、マスクや消毒液等の衛生用品や感染防止のための備品の購入等を行うなど感染症対策を図る。

(10)幼稚園リズム室空調整備事業（市独自分） 3,300 千円

幼稚園のリズム室に空調機器を整備することにより、新しい生活スタイルによる保育を実施し、新型コロナウイルスの感染拡大防止を図るとともに共同的学び合いを実現する。

5. フリーディスカッション

(1) 榛原地域就学前施設の整備について

(2) 病児保育、病後児保育について

(3) こども食堂について

